

富士中だより

八丈町立三根学園富士中学校 令和元年6月14日 第3号

◇ 学校教育目標 ◇
自ら進んで学ぶ生徒
人や自然を愛する生徒
健康でねばり強い生徒

「考え、議論する道徳」

副校長 佐藤 孝男

今年度から「道徳」の時間が「特別の教科 道徳」として教育課程に位置付けられました。答が一つではない道徳的な課題を、生徒一人一人が自分自身の問題として捉え、「考える道徳」、「議論する道徳」を通して、自立した人間としてよりよく生きようとする意志や能力を育みます。変更された背景には深刻ないじめ問題や規範意識の低下などがあり、子供たちの健全育成が急務となっています。

教材の一部「思いやりとは・・・」の紹介です。

ちょっと想像してみましょう。あなたは今、遊びに出かけた帰りで、電車に乗っています。あなたは座席に座っていますが、電車は混んでいて空いている座席はありません。ある駅で一人のお年寄りが乗ってきました。手には杖を持ち、少し足を引きずるようにしています。それを見たあなたはどうしますか？

例えば、A「揺れる電車の中で立っているのはつらそうだ。僕は若いし元気だ。だから席を譲ろう。」と考へて、席を譲る。B「揺れる電車の中で立っているのはつらそうだ。僕は若いし元気だ。だから席を譲ろう。でも、声をかけるのは何だか恥ずかしいし、もし断られたらカッコ悪いよな。」と考へて、そのまま座り続ける。C「電車でお年寄りや体の不自由な人を見かけたら席を譲りなさいって、お母さんがいつも言っていたよな。」と考へて、席を譲る。D「お年寄りが乗ってきたことも、席が全部埋まっていることも、気づかなかったことにしよう。」と考へて、そのまま座り続ける。

さて、あなただったらどうするでしょうか？思いやりの心をもつことや、思いやりのある行動をしていくことの大切さは、みんな理解しているはずですが、その一方で、「分かっていたのにできなかった」、「やろうという気持ちはあったのに一歩が踏み出せなかった」、そんな経験をしたことのある人も多いのではないのでしょうか。思いやりの心をもっていても、行動に移せなければ意味がないのでしょうか。思いやりの心などなくても、行動さえできればそれでいいのでしょうか。「思いやり」とは・・・。

一人一人いろいろな考へがあると思います。「自分だったら～する」と考へたり、人の考へを聞くことで自分の思いが変わったりすることもあるでしょう。「考へ、議論する道徳」を実践していきます。

「困っていたり、悩んでいた、心の中は見えにくいけれど、たす、ひく、かける、わる。小さなやさしさで、きっと気持ちは通じ合う。それは人を笑顔にする算数、「おもいやり算」。一人一人の心づかいが、大きな答になるはず。やさしいでしょ、おもいやり算」

たす (+) けあう。ひき (-) うける。声をかける (×)。わけ (÷) あう。(AC ジャパン資料より)

さて、6月17日(月)から22日(土)まで学校公開週間となります。なお、22日(土)は道徳授業地区公開講座も開かれ、学年毎に「生命の尊さ」について授業を展開します。また、3時間目の講演会では、町立病院産婦人科勤務の下地亮子さんを講師としてお招きし、「思春期の心とからだ～生命誕生に関する大切なこと～」をテーマにお話をさせていただきます。皆様のご来校をお待ちしています。

🚲 交通安全教室

5月23日(木)に、八丈島警察署の方を講師にお招きし、交通安全教室を実施しました。テーマは『安全な自転車の乗り方』です。自転車事故のDVDを鑑賞し、自転車を運転している私たちが事故の加害者になってしまう可能性があることを学びました。「自転車だから大丈夫」ではなく、「自転車も一歩まちがえれば、大きな事故を起こすことにつながる」という意識で乗ってほしいと思います。

後半は実際に自転車を使って、デモンストレーションを行いました。基本的な左右確認の仕方から行いましたが、日常の自転車利用時これが大切です。八丈島は信号が少なく、見通しの悪いところから急に車が飛び出してくることが少なくありません。その時に自分の身を守るには、「車は来ないはずだから・・・」ではなく、きちんと止まって安全を確認しましょう。またスピードを落とした状態で、バランスを保ちながら運転するのは非常に難しいということも学びました。自転車での登下校時、友達とおしゃべりをしながら並進していませんか？スピードを落とした状態だと、転倒の恐れもあります。ぜひ今回の交通安全教室で学んだことを生かし、安全に自転車を利用してください。最近では痛ましい交通事故のニュースが、あとを絶ちません。「事故はいつでも起こりうる」という危機感を常にもつようにしましょう。(生活指導主任 小川)



薬物乱用防止教室

5月31日(金)に第1学年では薬物乱用防止教室を行いました。八丈島警察署防犯係の警察官の方々が来校され、実際の薬物等の写真や動画などを使って、薬物の危険性についてお話をしてくださりました。警察官の方が新宿で勤務されていた頃に実際に薬物使用者の検挙に立ち会ったお話など、貴重なお話を聞かせていただくことができました。みな真剣に話を聞いて、薬物の危険性について理解を深められたと思います。また、当日は司会を平井あささんが行い、堀本素良くんが警察の方々へのお礼の言葉を述べました。2人ともしっかりと薬物乱用防止教室の運営を行うことができました。

(1 学年主任 小泉)



開花 ～受け継ぐ伝統、新たな彩～

平成30年度後期の活動目標が『蕾～道進まずして、その花は咲かない～』でした。意味は、「目標を達成するために努力を怠らず道を進めば、蕾（目標が達成）から大きな花（成功）を咲かしていこう。」です。今年度は前年度後期の目標から、『開花～受け継ぐ伝統、新たな彩～』としました。この活動目標は、蕾だった花が開花し上級生から受け継いだ伝統や誇りを大切に、令和という時代に1人1人の色を刻もうという意味が込められています。この生徒会の活動目標を経て、どの委員会も工夫を凝らした目標や活動を考えています。また、「前年度と同じでいいや…」ではなく、富士中をよりよくするために今の自分たちに何ができるのかを、各委員会が真剣に議論を重ねました。同じ企画でも前年度の反省を生かし、パワーアップした活動を考え実行していく姿に毎年富士中の生徒の力強さを感じられます。



各委員会から前期の活動方針案の提案と各クラスでの議案書討議を経て、5月14日に生徒総会が行われ、生徒会および各委員会の前期の活動方針が決定しました。

そして5月27日から『生徒会週間』がスタートし、いつも以上に各委員会の活動に熱が入っていました。この2週間で行われた、各委員会のおもな活動を紹介します。

- 生徒会役員会**：挨拶プロジェクト（朝の挨拶活動、挨拶マスターの選出）、八丈語短歌・俳句コンテスト
- 学級委員会**：授業態度チェック（授業態度を先生が評価）
- 生活委員会**：あいさつ運動（授業の最初と最後のあいさつを、先生が評価）
- 広報委員会**：お昼の放送での『新任の先生インタビュー』
- 図書委員会**：みんなでつくろう物語
- 保健美化委員会**：残菜ゼロ運動、ブラッシング週間（昼休みの歯磨きの奨励）



各委員会の工夫はもちろんですが、生徒1人1人が生徒会の会員として活動に参加している姿が見られ、富士中全体に活気がみなぎった2週間でした。『生徒会週間』が、富士中をさらによりよくする“きっかけ”になったはずですが、その“きっかけ”を大切に、みなさん1人1人が高い意識をもって、普段の学校生活にも生かし、生徒会活動に積極的に参加していきましょう。

(生徒会担当：武井)

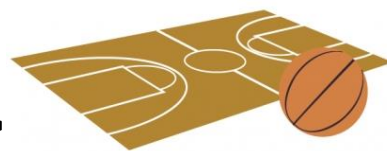
通級指導学級校外学習

通級指導学級では、仲間と協力し、見通しをもって作業する力を身に付けるために、体験学習を実施しています。5月31日にもったいない工房「ちょっぺ」に、校長先生、担任、講師と出かけてきました。

ちょっぺでは「もったいない」精神で、古着や植物、貝などにひと手間加えて再活用し、新しい命の宿った作品を作り上げています。今回は海の浮き、糸、紙粘土からかわいいう猫の置物を作りました。1つ1つの作業を丁寧にこだわりながらも、与えられた時間内で自分の作品を作り上げ、達成感を感じる活動となりました。(通級担任 小笠原)



バスケットボール部 遠征



運動部の先陣を切り、5月31日（金）から、バスケットボール部は品川区の夏季選手権大会に出場しました。1年間で唯一の公式戦であり、3年生にとっては最後の遠征です。島内で試合自体がなかなかできないという厳しい環境の中でも、「バスケットが好き」という思いに支えられ、選手たちはこれまで一生懸命に頑張ってきました。



バスケットボールは、相手との接触がある激しいスポーツです。また規定の点数を取ったら試合が終わるわけではなく、どんな状態でも8分×4ピリオドの32分間を戦い続けなければなりません。しかし今回の遠征では、男女ともに本当によく頑張りました。

男子は序盤から厳しい展開になりましたが、リバウンドとディフェンスから流れを引き寄せていました。どんなに点差がついても最後まで走り切り、自分たちのバスケットをすることができました。



女子は、3年生にとって念願の初勝利を収めました。その試合ではエースの選手が34得点取っただけでなく、コート上の5人が32分間声を出し続けました。相手に流れが傾いている苦しい場面でも、2年生がシュートを決め、再び流れをもってくるなど、全員で戦い抜きました。2回戦は序盤リードしたものの、後半は苦しい展開になりましたが、選手たちは最後まであきらめずに相手に立ち向かいました。

男女ともに念願の2勝はできませんでしたが、チームとして大きく成長できたと思います。それは選手の1人1人のプレーの面だけでなく、ベンチでの応援やお互いにサポートし合う姿など、この遠征



を悔いなく終えたいという選手たちの気持ちが行動に表れていました。

試合会場には多くの保護者の方だけでなく、富士中を去られた先生方、島外の高校へ進学した先輩方など、たくさんの方々に応援していただきました。その声援が選手たちの力に変わり、最高の試合をすることができました。「島の中学校でもここまでやれる」という思いで、チーム全員で戦い抜いた遠征だったと思います。バスケットボールを通して、選手たちが成長し、胸を張って八丈島に帰って来られたことを嬉しく思います。たくさんのご声援、本当にありがとうございました。

（バスケットボール部顧問 小川）

※品川区夏季選手権大会の結果
男子1回戦 対 富士見台中学校 (41-88)
女子1回戦 対 伊藤学園 (77-30)
女子2回戦 対 荏原第一中学校 (44-67)

6・7月の主な予定

- 6月17日（月）～6月22日（土）
学校公開週間
- 6月22日（土）道徳授業地区公開講座
- 6月24日（月）～6月26日（水）
期末考査
- 6月27日（木）プール指導開始
- 6月28日（金）上級学級訪問（3年）

- 7月 3日（水）～7月12日（金）
三者面談期間（3年）
- 7月 4日（木）都学力調査（2年）
- 7月 9日（火）音楽鑑賞教室（3年）
- 7月11日（木）八丈方言授業、セーフティ教室
保護者会（1・2年）
- 7月17日（水）大掃除
- 7月18日（木）終業式
- 7月22日（月）夏季学習教室・水泳教室